伊賀市 事務事業事前評価シート

新規・施設の建設

コード	名 称
事業名	3017 社会体育施設整備事業
基本施策	34 だれでもが気軽に楽しめるスポーツを振興する。

担当部課名	教育委員会島ヶ原分室
作成者氏名	川口正仁
連絡先	59 - 2058

事業の計画・内容

建設目的 島ヶ原地区の社会体育施設である島ヶ原運動広場は、体育協会事業や各種スポーツクラブ等を中心に年間延べ4,080人(平成17年度実績)が利用している。しかし、現在のグラウンドが特に狭いため、地域スポーツとして盛んなソフトボールや少年野球、サッカー等の練習や大会の実施に支障となっている。	建設内容	1 建設用地	既存敷地
	2 建設面積(延床面積)	第一グラウンド8,000㎡・第二グラウンド1,950㎡	
	3 規模・構造		
	4 総事業費(千円)	216,400	

投入資源

		H19	H20	H21
投入人員	正規職員 (人)	0.15		
	人件費合計(A)	1,080	0	0
支出内訳(千円)	事業費(B)	216,400	0	0
	委託料	1,400		
	工事費	215,000		
	その他			
合計(A+B)		217,480	0	0
財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金	100,000		
	地方債	75,000		
	受益者負担			
	その他特財	40,000		
	一般財源	2,480	0	0
上記 ~ に関する特記事項				
工事費内訳: 旧小中学校舎解体72,200千円、旧小学体育館解体9,600千円、旧中学特別棟改修20,500千円、運動場整備59,800千円、屋外便所新設9,400千円、屋外放送施設1,500千円、屋外照明施設42,000千円、委託料は設計監理費				

運営体制の予定

1 運営主体	直営	指定管理	民間委託
	(委託先: 伊賀市文化都市協会)		
2 配置予定人員			人
3 年間運営費			千円
4 市内の主な類似施設			

事業年度

開始年度	平成 18 年度	終了年度	平成 19 年度
------	----------	------	----------

事業計画(同内容の資料がある場合、添付でも可)

区分	年 度				
	H19	H20	H21	H22	H23
設計監理委託	←→				
工事	←→				

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	目 標
施設利用者の総数	年間施設利用者を増やすことが体力づくりや生涯スポーツの普及状況を示す指標となる	平成 20 年度 4,500人

評 価	必要性	有効性	効率性
評 価	4	4	4

現在の島ヶ原運動広場は地域スポーツとして盛んなソフトボールや少年野球、サッカー等の試合において、必要な広さが確保できず大会の実施・運営に支障となっているため一日も早い整備が必要である。

体育協会や各種スポーツ団体等が日常的利用することによって地域の連帯意識が高まると共に子どもから高齢者までの世代間交流も盛んになり地域社会が活性化する。又、市民の体力づくりや健康の保持・増進につながる。

指定管理者による管理運営により、住民サービスの向上と管理経費縮減を図る。

総合評価

A